

みんなで減らそう!

「食品ロス※」は、全国で年間612万トンに上り、日本人1人1日あたりに換算すると、約132g(お茶碗約1杯分のご飯)を捨てていることとなります。(農林水産省及び環境省「平成29年度推計」より)

さらに、生産時に使用された水や飼料、輸送エネルギーなどは、その食品を廃棄した場合すべて無駄になり、廃棄するためのエネルギーも必要になります。また、それらの過程で発生した温室効果ガスは、地球温暖化など地球環境に大きな影響を与えています。みんなの大切な地球を守るために、食品ロスを減らしましょう!

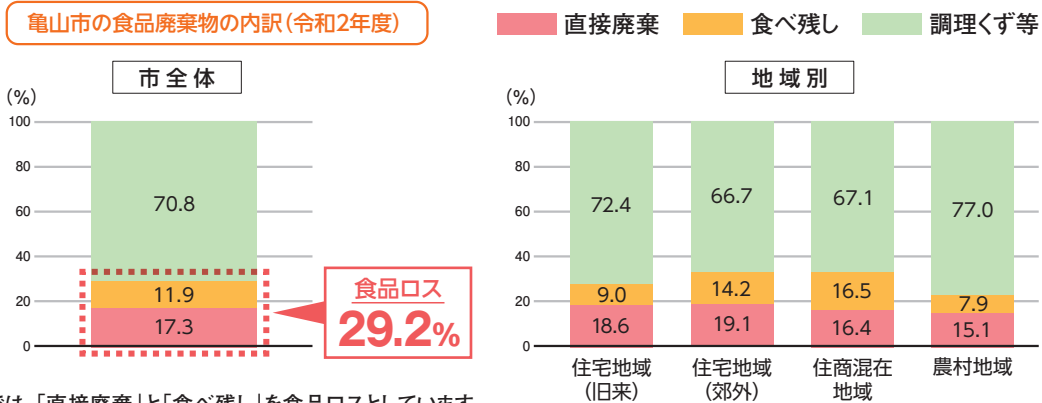
※食品ロス…本来食べられるのに捨てられている食べ物のこと



問合先 環境課廃棄物対策グループ(☎82-8081)

食品廃棄物組成分析調査を行いました!

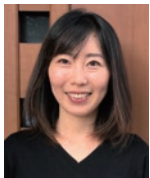
令和2年12月、家庭から出る食品廃棄物の内訳や食品ロスの量を把握するため、市として初めて食品廃棄物組成分析調査を実施しました。今回の調査における食品廃棄物の内訳を見ると、住宅地域(郊外)と住商混在地域の食品ロスの量が比較的多く、農村地域では、直接廃棄、食べ残しともに少ない結果となりました。



※本調査では、「直接廃棄」と「食べ残し」を食品ロスとしています。

私たちにできることはなんだろう?!

ごみダイエットサポーターが食品ロスを減らすために日ごろ行っていることや、食品廃棄物組成分析調査結果の感想などを紹介します!



ごみダイエットサポーター 長谷川さん

買い物前はもちろん、普段から冷蔵庫や食品置場の整理とチェックで買い過ぎを防止しています!

今回、食品廃棄物組成分析調査の結果を見て、まだ食べられる食品がたくさん捨てられていることに心が痛みました。そのような未利用食品の活用方法を調べていると、

亀山市に食品を寄付することができる団体(亀山みんなの食堂)があることを知りました。期限内に食べきれないときは、活用してみたいと思います。

亀山みんなの食堂

☎ 080-6813-4088 (午後6時~10時)

✉ minnanosyokudo@gmail.com



ごみダイエットサポーター 服部さん

今回の食品廃棄物組成分析調査の結果を知り、たくさんの食品が捨てられていることにショックを受けました。廃棄物の中には旬の野菜などもたくさん見つかри、作り手の気持ちを考えると、非常に残念に思います。旬の野菜や果物はおいしく、栄養価も高いので、捨てるのはもったいないです!

食品ロスは、保存方法を工夫すれば、減らすことができます!例えば、賞味期限が近づいて風味が落ちてしまった食パンは、冷凍後おろし金で削ると、パン粉として使用することができます。家にたくさんあると思った食品は、消費・保存する方法を早め早めに考えてみてください。